

# 総合戦略



いちき串木野市  
鹿児島県

## 事業評価報告

取組状況評価区分	件数	割合
A：取組を実施した（実施済、実施中）	9	35%
B：取組を一部実施した（一部実施済、実施中）	17	65%
C：方針、具体策を検討中	0	0%
D：未着手または施策の見直しが必要	0	0%
計	26	100%

KPI評価区分	件数	割合
A：十分に達成されている	7	29%
B：概ね達成されている	2	8%
C：あまり達成されていない	12	50%
その他	3	13%
計	24	100%

第2期いちき串木野市まち・ひと・しごと創生総合戦略

地方創生

令和6年8月

## 目 次

1 . 総合戦略の成果	1
2 . 総合戦略の取組概要	2
3 . 総合戦略の数値目標及びK P I (重要業績評価指標) 一覧	
住み続けられるまち	3 ~ 5
基本的方向	
具体的施策 ( 1 ) 食を核とした産業基盤の強化(食のまちづくり)	
具体的施策 ( 2 ) 人材還流や雇用マッチングによる地元就業の推進	
具体的施策 ( 3 ) 再生可能エネルギー促進による地域振興(環境維新のまちづくり)	
子どもの未来を育むまち	6 ~ 7
基本的方向	
具体的施策 ( 1 ) 利用者目線で行う子育て支援	
具体的施策 ( 2 ) 子どものやる気と才能を引き出すまちづくり	
自慢できるまち	7 ~ 8
基本的方向	
具体的施策 ( 1 ) まちの魅力を高めるシティプロモーションの展開	
具体的施策 ( 2 ) 多様な人材が活躍できる場の形成	
4 . 総合戦略の検証 【具体的な取組内容】	9 ~ 19
5 . 地方創生推進交付金の検証	20

## 1. 総合戦略の成果

第2期いちき串木野市まち・ひと・しごと創生総合戦略の令和5年度の実績について公表します。

第2期総合戦略では、中長期的な展望に立ち「地域の産業成長の強化」「新しい時代の流れを力にする」「地方創生のための人材育成と地域共生社会の実現」「SDGsの理念に沿った地方創生の推進」の新たな4つの視点を踏まえ、限られた財源と人員を有効に活用しながら、中長期的な展望に立って人口減少の克服と地方創生を成し遂げることとしており、市の最上位計画である「いちき串木野市第2次総合計画」を具体化し補完するものと位置づけ、令和3年度から令和8年度までの6年間の取組についてまとめたものです。

### 令和5年度の主な取組・成果

#### 住み続けられるまち

全15事業のうち、既に取組を実施済（実施中）の事業が2事業（A評価）、取組を一部実施済（実施中）の事業が13事業（B評価）でした。数値目標については、市民所得や生産年齢人口は目標に及びませんでした。人口の社会動態は増加となり、目標を上回りました。また、農業算出額や製造品出荷額についても、目標を大きく上回る成果となりました。今後も、社会動態による増加を持続的なものにするともにスマート農業の推進など産業基盤の強化を進めてまいります。

#### 子どもの未来を育むまち

全5事業のうち、既に取組を実施済（実施中）の事業が2事業（A評価）、取組を一部実施済（実施中）の事業が3事業（B評価）でした。数値目標については、合計特殊出生率が1.48%（県内ワースト）、出生数が93人、年少人口割合は10.6%となるなど本市の少子化・人口減少は加速度的に進んでいます。人口減少・少子化の克服については、令和5年度を「人口減少・少子化緊急対策元年」と位置づけ、保育料の無償化など出会いから結婚、子育てそれぞれのライフステージにおけるサポートの充実を図ってきました。令和6年度においても、保育料、給食費、子ども医療費の3つの無償化による子育て世代の経済的負担の軽減を図るなど、引き続き若者や子育て世代を中心とした施策を重点的に取り組んでまいります。

#### 自慢できるまち

全6事業のうち、既に取組を実施済（実施中）の事業が5事業（A評価）、取組を一部実施済（実施中）の事業が1事業（B評価）でした。数値目標のうち、観光客数は、4万人増加（対前年）しましたが、目標には届きませんでした。しかし、食のまちPRパートナーとの情報共有や食のまち魅力発信事業に取り組んだほか冠岳観光資源活用PR事業など、まちの魅力を高めるシティプロモーションを展開してまいりました。今後も、まちの魅力向上と効果的な情報発信に取り組んでまいります。

この総合戦略につきましては、今後も市民の皆様をはじめ、産業・行政・教育・金融機関等の参画を得て、効果検証を踏まえながら、官民一体となって推進し、地域経済の浮揚発展、地域活性化へと繋げていきます。

## 2. 総合戦略の取組概要

基本目標	令和5年度 取組状況	施策の評価 1				数値目標				令和6年度 取組予定
		A	B	C	D	項目	基準値	実績	目標	
住み続けられる まち	<p>「食を核とした産業基盤の強化」として、農作業の効率化及び農家の生産性を向上するため、水田自動灌水システムや有害鳥獣の箱罠の状況をスマホに知らせる機器を導入したほか、「ヒオウギガイ」の試験養殖を開始した。</p> <p>また、副業人材活用補助金を9企業が活用し、経営課題の解決に取り組んだほか、海外販路開拓支援として、海外輸出マニュアルの作成やトライアル輸出イベントを台湾で実施した。</p> <p>「人材還流や雇用マッチングによる地元就業の推進」として、飲食店新規出店促進事業補助金を活用し、移住者による飲食店が開店したほか、新たに創設したイクボス企業応援助成金には6件の申請があった。また、若者のUIJターンを促進するため、薩摩スチューデント奨学プログラムを創設し、周知や説明会を実施したところ、7件の申込みがあった。</p> <p>再生可能エネルギー導入促進による地域振興(環境維新のまちづくり)に向け、住宅用太陽光発電の卒FIT電源の買取を開始したほか、地球温暖化対策実行計画区域施策編を策定した。</p>	2	13	0	0	市民所得	225万円 (H29)	216万円 (R2)	249万円	<p>「食を核とした産業基盤の強化」として、ハウス果樹用センサーの導入や肉用牛繁殖農家における監視モニターの設置などスマート農業を推進していくほか、ヒオウギガイの試験養殖を実施する。また、学校給食地産地消推進事業補助金により学校給食における地場産品の活用を推進する。</p> <p>「人材還流や雇用マッチングによる地元就業の推進」として、定住促進補助金を大幅に拡充したほか、移住者向けのウェブサイト構築し、移住定住の促進を図る。また、新規創業等支援事業補助金により、市内商工業の振興を図るほか、引き続きIT関連企業の誘致など若者等の雇用の場の確保に取り組む。</p> <p>「再生可能エネルギー導入促進による地域振興(環境維新のまちづくり)」に向け、洋上風力発電に係る産業拠点化に向けた可能性調査などを実施するほか、2050年のカーボンニュートラルに向けた施策を検討する。</p>
						生産年齢人口	13,929人 (R元)	12,865人	12,661人	
						人口の 社会減	122人 (R元)	28人	0人	
子どもの未来を 育むまち	<p>「利用者目線で行う子育て支援」として、長崎鼻公園一帯を子育て世代が集う誘客交流拠点として整備するため、事業グループを公募型プロポーザルにより公募した。また、婚活や結婚への支援として、趣味嗜好によるマッチングイベントを5回実施したほか、結婚新生活支援補助金として5件の新婚世帯へ支援を行った。</p> <p>「子どものやる気と才能を引き出すまちづくり」では、夏休みと冬休みに小学生を対象とした子ども大学を実施したほか、中学生を対象とした「イングリッシュチャレンジプログラム」を実施し、実践的な英語を使う機会を提供した。また、学校においては、指導者用のデジタル教科書や3Dプリンタなどを導入し、ICT環境の整備に努めた。</p>	2	3	0	0	合計特殊 出生率	1.56 (R25-29)	1.48	1.73	<p>利用者目線で行う子育て支援として、学校給食費・子ども医療費・保育料の3つの無償化など、子育て世代の経済的負担の軽減を図るとともに、若者や子育て世代を中心とした施策に重点的に取り組み、若者や子育て世代に選ばれるまちづくりを目指す。</p> <p>また、長崎鼻公園一帯を、季節や天候を問わず幅広い年代が集え、交流できる誘客交流拠点施設として整備するための基本設計等を行い、令和8年度の供用開始を目指す。</p> <p>子どものやる気と才能を引き出すまちづくりでは、英語教育を一層推進するため、小中学校におけるALTの増員やオンライン英会話の実施により、実践的な英語を使う機会を子どもたちに提供する。</p>
						年少人口 割合	11.3% (R2.12末)	10.6%	13.0%	
自慢できるまち	<p>まちの魅力を高めるシティプロモーションの展開として、食をテーマにしたPR動画を制作したほか、食のまちストーリーズなど市公式SNS等を活用して情報発信を行った。また、小学生を対象とした子どもジャーナリスト事業や高校生を対象とした「10代からの本格焼酎体験」を実施し、子どもたちのシビックプライドの醸成に努めた。</p> <p>多様な人材が活躍できる場の形成として、外国人留学生支援事業により、留学生の生活や学業支援を実施するとともに企業の人材確保に取り組んだ。また、日本語サポーター養成講座などを開催し、地域住民、外国人住民が相互に理解し、安心して暮らせるまちづくりに取り組んだ。</p>	5	1	0	0	誇れるまち と考える 市民の割合	54.9% (R元)		70.0%	<p>まちの魅力を高めるシティプロモーションの展開として、市制施行20周年に向け、市民との共創による記念事業の企画会議を行う。また、食をテーマにしたPR動画制作や食のまちストーリーズなど食のまち魅力発信事業に取り組むとともに食のまちPRパートナー公式LINEを開設し、市の魅力発信により交流人口の増加を目指す。</p> <p>多様な人材が活躍できる場の形成として、引き続き外国人留学生支援事業を実施するほか、地域住民・外国人住民双方が理解を深めて安心して暮らせるよう、各種講座を実施するなど多文化共生社会の実現を目指す。</p>
						観光客数 (年間)	85万人 (R元)	63万人	87万人	

1【評価】欄について A：取組を実施した（実施済、実施中）、B：取組を一部実施した（一部実施済、実施中）、C：方針・具体策を検討中、D：未着手または施策の見直しが必要

2「-」については、現時点で実績数値が把握できていないものを示しています。

### 3. 総合戦略の数値目標及びKPI（重要業績評価指標）一覧

#### 住み続けられるまち

##### 基本的方向

数値目標	基準値	実績（R3）	実績（R4）	実績（R5）	実績（R6）	実績（R7）	実績（R8）	目標値（R8）	確認担当課
市民所得	225万円 (H29)	226万円 (H30)	234万円 (R元)	216万円 (R2)				249万円 (+24万円)	企画政策課
	増減額	1万円	9万円	9万円					
	進捗率 /	4.2% / C	37.5% / A	37.5% / C					
生産年齢人口 (1)	13,929人 (R元)	(目標:13,718人) 13,340人	(目標:13,506人) 13,025人	(目標:13,295人) 12,865人	(目標:13,084人)	(目標:12,872人)	(目標:12,661人)	12,661人	市民生活課
	目標との差	378人	481人	430人					
人口の社会減 (1)	122人 (R元)	(目標:102人) 134人	(目標:81人) 85人	(目標:61人) 28人	(目標:41人)	(目標:20人)	(目標:0人)	0人	市民生活課
	目標との差	32人	4人	89人					

(1) 目標値(R8)に至るための目標値を各年度に設定し、目標値と実績値の差を記載しております。

##### 具体的施策(1)食を核とした産業基盤の強化(食のまちづくり)

基幹産業の強化による地産地消の推進と域外消費の増加									
KPI	基準値	実績（R3）	実績（R4）	実績（R5）	実績（R6）	実績（R7）	実績（R8）	目標値（R8）	確認担当課
農業産出額	35.5億円	-	35.6億円 (R3)	37.4億円 (R4)				35.6億円 (+0.1億円)	農政課
	増減額	-	0.1億円	1.9億円					
	進捗率/評価	-	100% / A	1900% / A					
製造品出荷額	579億円 (H30)	620億円 (R元)	674億円 (R2)	774億円 (R3)				644億円 (+65億円)	企画政策課
	増減額	41億円	95億円	195億円					
	進捗率/評価	63.1% / A	146.2% / A	300.0% / A					

## 具体的施策（２）人材還流や雇用マッチングによる地元就業の推進

食のまちを支える人材の育成・供給									
K P I	基準値	実績（R3）	実績（R4）	実績（R5）	実績（R6）	実績（R7）	実績（R8）	目標値（R8）	確認担当課
支援による 事業承継数 （累計）		0件	1件	1件				6件	水産商工課
	実績/年	0件	1件	0件					
	進捗率/評価	0% / C	16.7% / C	16.7% / C					
認定農業者数 （累計）	40人 (R2.3時点)	39人	39人	41人				50人 (+10人)	農政課
	増減数	1人	1人	1人					
	進捗率/評価	10.0% / C	10.0% / C	10.0% / C					

Society5.0の時代にマッチしたワークライフバランスの取れた働き方の創出									
K P I	基準値	実績（R3）	実績（R4）	実績（R5）	実績（R6）	実績（R7）	実績（R8）	目標値（R8）	確認担当課
IT関連企業 立地数 （累計）		0件	0件	2件				5件	産業立地課
	進捗率/評価	0% / C	0% / C	40% / B					
ぐるみん認定 事業所数 （累計）		0社	0件	0件				6社	企画政策課
	進捗率/評価	0% / C	0% / C	0% / C					

具体的施策（３）再生可能エネルギー導入促進による地域振興（環境維新のまちづくり）

創・蓄・省エネルギーの推進による再生可能エネルギーの導入促進									
KPI	基準値	実績（R3）	実績（R4）	実績（R5）	実績（R6）	実績（R7）	実績（R8）	目標値（R8）	確認担当課
いちき串木野 電力の電源構 成における再 生可能エネル ギー比率	2.0%	1.5%	2.0%	2.0%				10% (+8.0%)	産業立地課
	増減値	0.5%	0%	0%					
	進捗率/評価	6.3% / C	0% / C	0% / C					
FIT 導入容量	42,594kw	44,581 kw	46,882 kw	47,607 kw				76,636kw (+34,042 kw)	産業立地課
	増減値	1,987 kw	4,288 kw	5,013 kw					
	進捗率/評価	5.8% / B	12.6% / C	14.7% / C					

## 子どもの未来を育むまち

### 基本的方向

数値目標	基準値	実績 (R3)	実績 (R4)	実績 (R5)	実績 (R6)	実績 (R7)	実績 (R8)	目標値 (R8)	確認担当課
合計特殊 出生率 ( 2 )	1.55 ( H25-29 )			1.48 ( H30-R4 )				1.73 ( + 0.18 ) ( R12 で 2.07 )	企画政策課
	増減値			0.07					
	進捗率 / 評価			38.9% / C					
年少人口割合 ( 0 ~ 14 歳 )	11.3% ( R2.12 時点 )	11.1%	11.0%	10.6%				13.0% ( + 1.7% )	市民生活課
	増減値	0.2%	0.3%	0.7%					
	進捗率 / 評価	8.5% / C	17.6% / C	41.2% / C					

### 具体的施策 ( 1 ) 利用者目線で行う子育て支援

子どもを安心して産み育てられる環境整備									
K P I	基準値	実績 (R3)	実績 (R4)	実績 (R5)	実績 (R6)	実績 (R7)	実績 (R8)	目標値 (R8)	確認担当課
長崎鼻公園の 利用者(年間)	63,784 人 ( R 元年度 )	59,828 人	59,021 人	48,230 人				90,000 人 ( + 26,216 人 )	シティセールス課
	増減値	3,956 人	4,763 人	15,554 人					
	進捗率 / 評価	15.1% / C	18.2% / C	59.3% / C					
出生数 ( R3 ~ 8 累計 )	1,080 人 ( H25 ~ 30 )	117 人	255 人	348 人				1,000 人	市民生活課
	単年出生数	117 人	138 人	93 人					
	進捗率 / 評価	11.7% / B	25.5% / B	34.8% / B					



## 具体的施策（２）子どものやる気と才能を引き出すまちづくり

国際社会で活躍できる人材の育成									
KPI	基準値	実績（R3）	実績（R4）	実績（R5）	実績（R6）	実績（R7）	実績（R8）	目標値（R8）	確認担当課
子どもの学力 （２）	47 (R2)	47.4	48.8	46.8				52 (+5.0)	学校教育課
	増減値	0.4	1.8	0.2					
	進捗率/評価	8.0% / B	36.0% / B	4.0% / C					

（２）NRT（標準学力検査）中3の英語の偏差値

Society5.0で活躍できる人材の育成									
KPI	基準値	実績（R3）	実績（R4）	実績（R5）	実績（R6）	実績（R7）	実績（R8）	目標値（R8）	確認担当課
ITキャンプ 参加者(累計)		0人	0人	0人				100人	企画政策課
	進捗率/評価	0% / C	0% / C	0% / C					

## 自慢できるまち

### 基本的方向

数値目標	基準値	実績（R3）	実績（R4）	実績（R5）	実績（R6）	実績（R7）	実績（R8）	目標値（R8）	確認担当課
誇れるまち と考える 市民の割合 （３）	54.9% (R元)		55.8% (R4)					70.0%	企画政策課
	進捗率/評価		6.0% / C						
観光客数 (年間)	85万人 (R元年度)	54万人	59万人	63万人				87万人 (+2万人)	シティセールス課
	増減数	31万人	26万人	22万人					
	進捗率/評価	1550% / C	1300% / C	1100% / C					

（３）「-」については、実績数値が把握できていないものを示しています。

## 具体的施策（１）まちの魅力を高めるシティプロモーションの展開

「食を中心とした豊かな時間や日々が過ごせるまち」の地域イメージ（ブランド）形成									
K P I	基準値	実績（R3）	実績（R4）	実績（R5）	実績（R6）	実績（R7）	実績（R8）	目標値（R8）	確認担当課
食のまちツーリズム事業参加者(累計)		335	696	1,215				320名	シティセールス課
	進捗率/評価	104.7% / A	217.5% / A	379.7% / A					
食のまちPRパートナー登録者数(累計)		23	37	48				100名	シティセールス課
	進捗率/評価	23.0% / A	37% / A	48% / A					

まちを好きになる市民を増やす取組の促進									
K P I	基準値	実績（R3）	実績（R4）	実績（R5）	実績（R6）	実績（R7）	実績（R8）	目標値（R8）	確認担当課
メディア(新聞)掲載数(年間)	152 (R元年度)	251	370	405				200 (+48)	企画政策課
	増減数	99	218	253					
	進捗率/評価	206.3% / A	454.2% / A	507.1% / A					
公式SNSフォロワー数		21,046	57,761	58,381				10,000	企画政策課 シティセールス課
	進捗率/評価	210.5% / A	577.6% / A	583.8% / A					

## 具体的施策（２）多様な人材が活躍できる場の形成

外国人や関係人口との協働促進									
K P I	基準値	実績（R3）	実績（R4）	実績（R5）	実績（R6）	実績（R7）	実績（R8）	目標値（R8）	確認担当課
大学や関係人口など外部組織や人材との共同事業	1 (R2年度)	7	7	4				5 (+4)	企画政策課
	増減数	6	6	3					
	進捗率/評価	150.0% / A	150.0% / A	75.0% / A					

## 4. 総合戦略の検証 【具体的な取組内容】

【評価】欄について

A：取組を実施した（実施済、実施中）

B：取組を一部実施した（一部実施済、実施中）

C：方針・具体策を検討中

D：未着手または施策の見直しが必要

「第2期いちき串木野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（令和3年3月策定）				前年度取組実績及び当年度取組（予定）		評価	
基本目標	具体的施策	個別施策	施策内容	前年度取組実績	当年度取組（予定）		
住み続けられるまち	(1) 食を核とした産業基盤の強化(食のまちづくり)	基幹産業の強化による地産地消の推進と域外消費の増加	A. 挑戦する農業応援	<p>I O TやA Iなどの先端技術を活用したスマート農業を推進し、農作業の効率化や省力化、生産性の向上を図る。需要の高まりが見込まれるカット野菜など加工・業務用野菜の生産など、農業者の安定した収益を確保するとともに、経営マインドをもって収益の向上に取り組む環境の創出に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農作業の機械化やA I・IT等を活用した生産管理の省力化による働きやすい環境づくり支援</li> <li>・加工・業務用野菜の産地化</li> </ul>	<p>【農政課】</p> <p>○スマート農業推進</p> <p>(1) 水田自動灌水システムの設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設置個所：2ヶ所</li> </ul> <p>【内容】</p> <p>スマホを活用し、適正な水管理を行うことができるシステムを設置した。今後、鹿児島大学と情報を共有し、データを活用することで、農作業の効率化と生産性の向上を図ることとしている。</p> <p>(2) スマート農業研修会（実践事例の紹介）への出席（WEB会議）</p> <p>○有害鳥獣対策</p> <p>(1) 箱罟感知システムの設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設置個所：5ヶ所</li> </ul> <p>【内容】</p> <p>振動を感知するとスマホに状況を知らせる機器を導入し、猟友会に貸与して市内5ヶ所の箱わなに設置した。</p>	<p>○ハウス果樹用センサーの導入・効果・検証（日置地域スマート農業推進協議会・鹿児島地域振興局推奨）</p> <p>○肉用牛繁殖農家における監視モニター設置（子牛分娩の事故軽減の検証）</p>	B
			B. 元気な沿岸漁業づくり	<p>基幹産業の水産業の課題である漁業従事者の高齢化、担い手不足、資源の減少を解決するため、沿岸漁業者をはじめ関係機関・団体との連携を図りながら、漁家の安定的な所得確保、経営の安定、新規就漁者の確保を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・つくり育てる漁業（養殖漁業・栽培漁業・種苗漁業）の導入に向けた養殖品目（魚類海藻類）等の研究</li> <li>・経営主体の設立支援</li> </ul>	<p>【水産商工課】</p> <p>○ヒオウギガイの試験養殖</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水域占用協議、試験計画書の提出</li> <li>・設置個所：屋敷港周辺3ヶ所</li> <li>・稚貝設置：11月</li> </ul> <p>毎月1回、県漁協串木野市島平支所、鹿児島地域振興局林務水産課及び水産商工課の共同で稚貝の生存率や成長を記録。また、稚貝の殻の清掃作業（付着物の除去）、網替え作業を1回行った。</p>	<p>【水産商工課】</p> <p>○ヒオウギガイの試験養殖</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設置個所：屋敷港周辺3ヶ所</li> <li>・毎月1回、県漁協串木野市島平支所、鹿児島地域振興局林務水産課及び水産商工課の共同で稚貝の生存率や成長を記録。</li> <li>・稚貝の殻の清掃作業（付着物の除去）</li> <li>・網替え作業</li> </ul>	B
			C. 製造加工事業者等の商品力強化支援	<p>新商品開発や新企画のスタートアップ支援を行うとともに、I C T等先端技術を活用した事業創出や産業支援を行い、生産性の向上とブランド力の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電子商取引社会に対応した産業支援</li> <li>・商品開発における異業種との協業支援</li> </ul>	<p>【水産商工課】</p> <p>○よろず支援相談会の実施</p> <p>開催日：毎月第4金曜日（月1回）</p> <p>会場：いちき串木野商工会議所（会社・店舗での相談可）</p> <p>相談件数：17社 68回</p> <p>相談内容：広報戦略・販売促進 等</p> <p>○副業人材活用支援補助金</p> <p>申請件数：10件 補助金額：901,900円</p>	<p>【水産商工課】</p> <p>○よろず支援相談会の実施</p> <p>○副業人材活用支援補助金の実施</p>	B
			<p>【シティセールズ課】</p> <p>○6次産業化推進補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・件数：1件</li> <li>・交付団体：生福地区まちづくり協議会</li> <li>・内容：黒にんにく保存用冷蔵庫整備</li> </ul>	<p>【シティセールズ課】</p> <p>○6次産業化補助金</p> <p>地元産の農林水産物等を活用し、加工・販売・サービスなどに新たな付加価値を生み出す6次産業化の推進</p>			

## 4. 総合戦略の検証 【具体的な取組内容】

【評価】欄について

A：取組を実施した（実施済、実施中）

B：取組を一部実施した（一部実施済、実施中）

C：方針・具体策を検討中

D：未着手または施策の見直しが必要

「第2期いちき串木野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（令和3年3月策定）				前年度取組実績及び当年度取組（予定）		評価	
基本目標	具体的施策	個別施策	施策内容	前年度取組実績	当年度取組（予定）		
住み続けられるまち	(1) 食を核とした産業基盤の強化(食のまちづくり)	基幹産業の強化による地産地消の推進と域外消費の増加	D. 草の根地産地消推進	生産者と消費者をつなぐ機能を強化し、地産地消の普及、販路拡大及び生産者のモチベーションアップにつなげる取組を促進する。  ・野菜の集荷機能の強化など直売所の販売機能強化 ・市内飲食店等におけるまぐろ等地場製品の取り扱い強化 ・地元料理のブラッシュアップ ・給食センターにおける地場産品の使用率向上 ・おごじょ起業塾の加工食品製造等取組拡大	【農政課】 ○市民農業塾での加工研修（みそ加工） ・日程：令和5年12月6日～8日 ・参加者：延べ12人 ○給食センターでの地元食材活用 ○薬膳弁当（紅葉時期）での地元食材活用 ○新規就農者への案内冊子の印刷 ○サワーポメロ改植事業：23a ○営農指導員等による指導  【学校給食センター】 ○地場産品の使用率向上 市内農家と学校給食センターで納入調整を行い、地元産野菜・果物の活用を推進した。 (地元産野菜・果物の使用率) R4：3.3% R5：4.8%	【農政課】 ○市民有機農業塾 ○給食センターにおける地場食材の活用 ○季楽館、その他直売所での地場産品販売 ○サワーポメロの生産を促進する取り組み（新規就農者への案内冊子の増刷、改植事業、営農指導員による指導）  【学校給食センター】 ○給食センターにおける地場産品の使用率向上（新たに市来農芸高校との連携を進める。） ○学校給食地産地消推進事業補助金の活用 地元産食材を活用した給食の提供に要する経費の一部に対して補助金を交付する。	B
			E. 地域通貨導入調査	地産地消を推進するために大切な、まちへの帰属意識を高め相互扶助を促す効果がある地域通貨を導入し、地域コミュニティの強化を図り、地域内経済循環を促進するため、地域通貨の導入に向け調査を実施する。  ・マイナンバーカードを活用した電子地域通貨の導入可能性調査	【水産商工課】 ○地域通貨導入検討 地域通貨システム事業所との事業内容説明・打合せ	【水産商工課】 ○行政サービスのデジタル化や地域DXについて、市としての方向性を関係課で調査・研究を行う。	B
			F. 国内外販路開拓支援	国内については、ふるさと納税や通信販売等ネット社会に対応した販売支援や製品づくり支援に取り組む。海外の食品見本市へ特産品出展支援と現地での商談を円滑に進めるため、海外バイヤー招致、海外スーパーにおけるトライアル販売、外国人を対象とした食と文化の体験型ツアー開発を支援する。  ・海外販路開拓事業 ・電子商取引社会に対応した産業支援	【シティセールス課】 ○海外販路開拓支援事業 ・輸出に向けた事業者サポート ・トライアル輸出の実施 1. シンガポール・台湾 2. マレーシア・ベトナム 台湾・ベトナムでは、いちき串木野フェアを実施 ・台湾向け輸出マニュアルの作成 ・ECサイトかごしまぐるりとの連携	【シティセールス課】 ○海外販路開拓支援事業 ・輸出に向けた事業者サポート ・トライアル輸出の実施 ・輸出マニュアルの作成 ・薩摩国広域輸出促進協議会への加入（香港で1件予定） ・ECサイトかごしまぐるりとの連携	A

## 4. 総合戦略の検証 【具体的な取組内容】

【評価】欄について

A：取組を実施した（実施済、実施中）

B：取組を一部実施した（一部実施済、実施中）

C：方針・具体策を検討中

D：未着手または施策の見直しが必要

「第2期いちき串木野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（令和3年3月策定）				前年度取組実績及び当年度取組（予定）		評価
基本目標	具体的施策	個別施策	施策内容	前年度取組実績	当年度取組（予定）	
住み続けられるまち	(2) 人材還流や雇用マッチングによる地元就業の推進 食のまちを支える人材の育成・供給	G. 商工事業承継対策	<p>中小規模事業者が有する技術やノウハウなどの経営資源や雇用を喪失させないため、いちき串木野市立ハローワークや商工会議所・商工会等経済団体や金融機関などと協働し、事業の承継、創業、新事業展開、事業強化等を目指す事業者とのマッチングにより、経済の活性化と雇用の維持確保を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・創業、継業しやすい環境を整備するため、経営や事業計画を学ぶ仕組みの創出</li> <li>・市立ハローワーク等と連携した起業希望者等との事業承継マッチング</li> <li>・リノベーションまちづくりの推進</li> </ul>	<p>【水産商工課】</p> <p>○飲食店新規出店促進事業補助金 食のまちを推進するため、新たに市内に飲食店を新築または店舗等を購入し、開店を行う事業者に対し補助する。 ・申請件数：1件 ・補助金額：2,164,000円</p> <p>ア 新築 (市内事業者) 対象経費の1/2 上限3,000千円 (市外事業者) 対象経費の1/3 上限2,000千円</p> <p>イ 空き店舗等購入 対象経費の1/2 上限1,000千円</p> <p>ウ 改築 (市内事業者) 対象経費の1/2 上限2,000千円 (市外事業者) 対象経費の1/3 上限1,000千円</p>	<p>【水産商工課】</p> <p>○新規創業等支援事業補助金 (1) 創業支援事業 ・対象経費：創業に係る設備の購入経費及び広報費、外注費に係る経費 ・補助率：1/2 (設備：上限200千円、広報費等：上限100千円)</p> <p>(2) 空き店舗等の家賃等補助（駐車場代含む） (最初の6か月：上限200千円) (7～24か月：上限100千円)</p> <p>(3) 店舗改装経費補助：上限200千円</p> <p>(4) 飲食店新規出店促進事業</p>	B
		H. 農林水産業担い手育成	<p>急速に高齢化が進み、就業者の大幅な減少が見込まれる農業漁業の担い手を早急に確保・育成し、農地の集約等と合わせて農地保全や事業継続を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農地の担い手への集約</li> <li>・新規就業（就農・就漁）と居住をパッケージ化した総合的支援プランの策定</li> </ul>	<p>【農政課】</p> <p>○個別による就農相談対応（7名）</p> <p>○新規就農に向けての農地紹介（農業委員会との連携による）</p> <p>○パソコン研修、農業大学校等への斡旋</p> <p>○R6年度国庫補助事業活用に向けての準備支援（4名）</p>	<p>【農政課】</p> <p>○個別の就業相談対応</p> <p>○各種研修への斡旋</p> <p>○県やJA等、関係機関との連携</p> <p>○補助事業活用の支援</p> <p>○営農指導員による栽培・経営指導、事業承継斡旋</p>	B

## 4. 総合戦略の検証 【具体的な取組内容】

【評価】欄について

A：取組を実施した（実施済、実施中）

B：取組を一部実施した（一部実施済、実施中）

C：方針・具体策を検討中

D：未着手または施策の見直しが必要

「第2期いちき串木野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（令和3年3月策定）				前年度取組実績及び当年度取組（予定）		評価	
基本目標	具体的施策	個別施策	施策内容	前年度取組実績	当年度取組（予定）		
住み続けられるまち	(2) 人材還流や雇用マッチングによる地元就業の推進	食のまちを支える人材の育成・供給	I. 人材還流・移住促進推進	若者が積極的に地元就業を選択できるよう、経済支援等の環境整備を行う。また、子どもの頃から、地元企業の仕事を知る機会を設け将来的な人材還流を図る。	【企画政策課】 ○移住・就業支援事業 （とんとん鹿児島移住就業・支援事業） ・実績：1件 1,000千円 （県750千円、市250千円） ○特定地域づくり事業協同組合推進事業 ・説明会の実施：15事業者の参加 ・先進地視察：熊本県五木村 ○移住促進 ・移住相談：21件 （電話・窓口相談6件、イベント15件） ・おためし住宅：12件 移住者：1件	【企画政策課】 ○移住・就業支援事業 （とんとん鹿児島移住就業・支援事業） ○移住促進 ・定住促進補助金の拡充（チラシ有） ・移住者向けのウェブサイトを新たに開設し、移住促進を図る。 ○特定地域づくり事業協同組合推進事業 ・説明会の実施	A
				・とんとん鹿児島移住就業・起業支援事業 ・空き家を活用した移住定住支援 ・子どもハローワーク事業 ・薩摩スチューデント奨学プログラム	【社会教育課】 ○子どもハローワーク事業 ・協力事業者：11社 ・生徒申込：6名（2社） 1社については、台風の影響により中止	【社会教育課】 ○ふるさとゼミナール事業 地域の持つ教育力（人材、歴史、風土等）を活用し、ふるさとの魅力などを再発見する機会につなげ、郷土愛やわがまちへの誇り、また、まちづくりに関わる意欲の醸成を図り、ひいては地元雇用につなげる。 （実施内容） ・対象：小中学生 ・事業の対象メニュー：商店街訪問、地元企業の見学、特産品の収穫体験など	
	(2) 人材還流や雇用マッチングによる地元就業の推進	Society5.0の時代にマッチしたワークライフバランスの取れた働き方の創出	J. IT関連企業誘致	サテライトオフィスやコワーキングスペースなど、IT企業進出に必要となる環境整備を図り、誘致を進める。	【産業立地課】 ○MINATOよりあいオフィス運営 ・IT相談窓口：8件 ・利用者数：1,009人（延べ） ・IT関連企業誘致：1社（㈱ツクレボ） 企業面談3社 ・コミュニティアドバイザー設置（R5.7～） 市内事業所へIT企業誘致の取り組みを周知（訪問数256回、実企業数169事業所） ○IT関連企業の進出：1社（LR㈱）	【産業立地課】 ○MINATOよりあいオフィス運営（IT相談窓口） ・コミュニティマネージャーの配置 ・IT関連企業誘致（新たな企業面談1社予定）	B



## 4. 総合戦略の検証 【具体的な取組内容】

【評価】欄について

A：取組を実施した（実施済、実施中）

B：取組を一部実施した（一部実施済、実施中）

C：方針・具体策を検討中

D：未着手または施策の見直しが必要

「第2期いちき串木野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（令和3年3月策定）				前年度取組実績及び当年度取組（予定）		評価	
基本目標	具体的施策	個別施策	施策内容	前年度取組実績	当年度取組（予定）		
住み続けられるまち	(2) 人材還流や雇用マッチングによる地元就業の推進	Society5.0の時代にマッチしたワークライフバランスの取れた働き方の創出	K. ICTを活用した働き方創出	地域格差なく働けるスキルを身に付けるため、IT等のスキルトレーニング等を実施し、テレワークにより、新しい日常に対応した、地元で働き続けられる環境の整備及びIT企業誘致に必要な人材育成を図る。	【水産商工課】 ○副業人材活用支援補助金 申請件数：10件 補助金額：901,900円	【水産商工課】 ○副業人材活用支援補助金の実施	B
				・IT企業やオンラインのアウトソーシング需要に応えられるスキルを持った人材の育成	【産業立地課】 ○新しい働き方（在宅ワーク）セミナーの実施（公財）かごしま産業支援センター ・日時：令和5年9月22日 ・参加者：15人	【産業立地課】 ○IT関連企業誘致支援による新しい働き方の実証実験	
住み続けられるまち	(2) 人材還流や雇用マッチングによる地元就業の推進	Society5.0の時代にマッチしたワークライフバランスの取れた働き方の創出	L. くるみん認定事業所普及	女性が働きやすく子育てしやすい職場環境を整備することで、職場への定着を図る。	【子どもみらい課】 ○イクボス企業応援助成金 本市に事業所を有する企業等に対し、男性の育児休業の取得期間の実績に応じて助成する。 支給額：育児休業取得期間に応じ10～25万円	【子どもみらい課】 ○イクボス企業応援助成金 ・イクボス宣言の趣旨も踏まえた広報・周知	B
				・くるみん認定の普及促進	【周知・広報】 ・広報紙・HPへの掲載 ・市内企業へお知らせ通知（433社） 【実績】 ・助成金申請件数：6件 ・助成金額：750,000円 ・助成金内訳： 5日以上～1月未満 4件 （医療法人杏林会、瀨田酒造2件、古川建設） 1月以上～3月未満 1件（瀨田酒造） 3月以上～6月未満 1件（平田工業） ・年度末現在でイクボス宣言11社	【水産商工課】 ○女性や子育て等に関する市事業・制度の事業者説明会等の実施 ○女性を対象としたセミナーの開催	
住み続けられるまち	(2) 人材還流や雇用マッチングによる地元就業の推進	Society5.0の時代にマッチしたワークライフバランスの取れた働き方の創出	L. くるみん認定事業所普及		【水産商工課】 ○子育て世代を対象とした就職応援セミナーの開催 ・日 時：令和6年2月16日（金） ・参加者：子育て世代の女性6名 ・内 容：履歴書の書き方、面接対応	【水産商工課】 ○女性や子育て等に関する市事業・制度の事業者説明会等の実施 ○女性を対象としたセミナーの開催	B
					【企画政策課】 ○SDGs視点から男女ともに輝ける職場や地域について考える講演会 ・日時：令和6年11月7日 ・参加者：30人	【企画政策課】 ○男女共同参画、SDGsに関する研修やセミナー等の実施	

## 4. 総合戦略の検証 【具体的な取組内容】

【評価】欄について

A：取組を実施した（実施済、実施中）

B：取組を一部実施した（一部実施済、実施中）

C：方針・具体策を検討中

D：未着手または施策の見直しが必要

「第2期いちき串木野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（令和3年3月策定）				前年度取組実績及び当年度取組（予定）		評価	
基本目標	具体的施策	個別施策	施策内容	前年度取組実績	当年度取組（予定）		
住み続けられるまち	(3) 再生可能エネルギー促進による地域振興(環境維新のまちづくり)	創・蓄・省エネルギーの推進による再生可能エネルギーの導入促進	M. 地産地消エネルギー導入促進	木質バイオマス発電事業や風力発電事業など、“創”エネルギーを推進する。  ・間伐材を活用した木質バイオマス発電の促進 ・風力（陸上・洋上）発電事業の促進 ・木質バイオマス発電や風力発電に関連した産業の創出	【産業立地課】 ○卒FIT電源買取開始（住宅用太陽光発電） ○市来地域マイクログリッド及びオフサイトPPAによるエネルギーの地産地消の検討 ○木質バイオマス発電及び風力発電計画の事業支援 ○洋上風力発電調査研究協議会での検討（3回）	【産業立地課】 ○卒FIT電源買取推進（住宅用太陽光発電） ○市来地域マイクログリッド及びオフサイトPPAによるエネルギーの地産地消の検討 ○木質バイオマス発電及び風力発電計画の事業支援 ○洋上風力発電調査研究協議会での検討	B
			N. 地産地消エネルギーを活用した地域活性化	農山漁村再生可能エネルギー法を活用し、再生可能エネルギー発電の利益を、農林漁業の健全な発展に資する取組みを通じて、地域に還元する仕組みを構築します。また、再生可能エネルギーを活用して地域の多様な課題に応える、地域循環共生圏の構築に取り組む。  ・発電事業者と農林漁業団体及び関係機関等による協議会の設置 ・農山漁村再生可能エネルギー法に基づく基本計画、設備整備計画の策定 ・卒FIT電源を活用した再生可能エネルギーの地産地消の仕組みづくり	【産業立地課】 ○農山漁村再生可能エネルギー法に基づく、発電事業者及び農林業団体との協議会設立検討	【産業立地課】 ○農山漁村再生可能エネルギー法に基づく、発電事業者及び農林業団体との協議会設立検討	B
			O. ゼロカーボンシティ推進	脱炭素社会に向けて2050年までにCO2排出実質ゼロを実現するため、市民生活におけるCO2削減につながる暮らしを提案し、普及を目指す。  ・地産地消によるフードマイレージ削減 ・ごみ排出量の削減 ・環境学習の場の創出 ・スマートハウスの集積推進策の展開 ・再生可能エネルギーへの転換促進	【市民生活課】 ○小学生（5年生）への環境教材冊子配布 ○マイバックの配布・啓発 ○ホームページ等による環境基本計画の周知  【産業立地課】 ○環境省による脱炭素先行地域指定に向けた検討 ○地球温暖化対策実行計画区域施策編の策定	【市民生活課】 ○小学生（5年生）への環境教材冊子配布 ○マイバックの配布・啓発 ○ホームページ等による環境基本計画の周知  【産業立地課】 ○2050年ゼロカーボンに向けた施策（事業）の検討 ○脱炭素まちづくりアドバイザー招致	B



## 4. 総合戦略の検証 【具体的な取組内容】

【評価】欄について

A：取組を実施した（実施済、実施中）

B：取組を一部実施した（一部実施済、実施中）

C：方針・具体策を検討中

D：未着手または施策の見直しが必要

「第2期いちき串木野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（令和3年3月策定）				前年度取組実績及び当年度取組（予定）		評価
基本目標	具体的施策	個別施策	施策内容	前年度取組実績	当年度取組（予定）	
子どもの未来を育むまち	(1) 利用者目線で行う子育て支援 子どもを安心して生み育てられる環境整備	P. 長崎鼻公園リノベーション	長崎鼻公園、海浜児童センター、グラウンド等を含むエリアを、子育て世代が憩い、安心して子供を遊ばせることができるなど、魅力的な空間になるよう整備する。  ・遊具や駐車場、東屋など長崎鼻公園一帯の整備	【都市建設課】 ○長崎鼻公園を活かした誘客交流拠点施設整備運営事業 ・公募型プロポーザルにより事業者グループ公募（令和6年3月28日）	【都市建設課】 ○長崎鼻公園を活かした誘客交流拠点施設整備運営事業 ・事業者グループと基本協定締結 ・基本設計、解体（予定）	B
		Q. 出会いサポート	結婚したい若者が希望する時期に結婚できるように、婚活や結婚に係る支援を行う。  ・出会いサポート ・縁結び隊 ・結婚新生活支援	【企画政策課】 ○結婚新生活支援補助金 39歳以下の世帯所得500万円未満の新婚夫婦に対し、新居の住居費や引越費用等の新生活に係る費用を支援する。 ・補助金額：1世帯30万円（上限） ・実績：5件 ○結婚活動支援補助金 39歳以下の未婚者に対し、婚活アプリ等を利用する際の登録料等の支援を行う。 ・補助額：年10万円（上限）1人1回限り ・実績：0件 ○趣味趣向による出会い創出事業 ・イベントを5回実施 ・参加者：延べ69名、 ・実績：3組のカップルが成立 ○鹿児島市のマリーサポート鹿児島と縁結び隊との連携 ○縁結び隊会員の意向調査、新規会員の募集	【企画政策課】 ○結婚新生活支援補助金 45歳以下の世帯所得500万円未満の新婚夫婦に対し、新居の住居費や引越費用等の新生活に係る費用を支援する。 ・補助金額：1世帯30万円（上限） ○結婚活動支援補助金 45歳以下の未婚者に対し、婚活アプリ等を利用する際の登録料等の支援を行う。 ・補助額：年10万円（上限）1人1回限り ○趣味趣向による出会い創出事業 ・イベントを実施予定 ○鹿児島市のマリーサポート鹿児島と縁結び隊との連携 ○縁結び隊会員の意向調査、新規会員の募集	A
		R. 子育て安心サポート	子育て世代包括支援センターを中心に、妊娠期から子育て期にわたり切れ目ない支援を行う。  ・全妊婦個別訪問 ・産前産後サポート ・妊娠中のハイリスク者を対象とした個別支援プラン作成	【子どもみらい課】 ○プレママさんのリラックスサロン ・毎月第3月曜日午前中開催 ・実績：年12回、延48人 （内容） 不安解消を目的に助産師と公認心理師による短時間講話のほか、外部講師によるリンパマッサージ、マタニティヨガ、赤ちゃん用品の手作り等をメニューに取り入れ、妊娠による体の不調の緩和と仲間づくり・交流を行った。 ○子どもみらい訪問：90人/94人 ・生後3ヶ月前後に育児用品を持参し、家庭訪問を実施 ・子育ての情報提供を行い、顔の見える関係づくりができた。 ・妊娠中のハイリスク者を対象とした個別支援プラン作成	【子どもみらい課】 ○プレママリラックスサロン： ・令和6年度は午前中に開催。 ・毎月第3月曜日（7月・9月は会場の都合で第1月曜日） ・妊娠による不調の緩和と地域での仲間づくり及び交流を図る。 ○子どもみらい訪問： ・訪問対象児：生後3～4か月頃 ・民生委員・児童委員が育児用品を持参し、家庭訪問を実施。 ・子育ての情報提供と子育てに関する悩みや不安の軽減を図る。	A

## 4. 総合戦略の検証 【具体的な取組内容】

【評価】欄について

A：取組を実施した（実施済、実施中）

B：取組を一部実施した（一部実施済、実施中）

C：方針・具体策を検討中

D：未着手または施策の見直しが必要

「第2期いちき串木野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（令和3年3月策定）				前年度取組実績及び当年度取組（予定）		評価	
基本目標	具体的施策	個別施策	施策内容	前年度取組実績	当年度取組（予定）		
子どもの未来を育むまち	(2) 子どものやる気と才能を引き出すまちづくり	国際社会で活躍できる人材の育成	S. SATSUMA- STUDENT 育成	英検資格取得の教育を主軸に、海外の子ども達とのオンライン交流や、外国人との対面によるコミュニケーションの場を創出する事で、子どもの英会話力と英語の学力向上を図り、合わせて国際感覚を養う。	【企画政策課】 ○イングリッシュチャレンジプログラム 中学生を対象に英語を活用した実践型キャリア教育。前半3日間は座学を行い、後半にイングリッシュサバイバルキャンプを実施した。 ・実施日：8月23日～25日、9月22日～24日 ・参加者：前半17名、後半12名（延べ85名） 参加者アンケートでは、英語が好きか？、英語が得意になりたいか？今後も英語を学びたいか？との質問に対して、参加の前後で全てプラスの効果が見られた。	【企画政策課】 ○子ども大学（夏・冬） 小学4～6年生を対象とした総合的学習プログラムや体験講座 （夏） ・日時/場所：令和6年7月27日（土） /いちきアクアホール ・参加者：8名 ・テーマ：国際交流と科学実験 （冬） 未定	B
				・タブレット英検対策学習 ・オンライン英会話教室 ・イングリッシュキャンプ（コミュニケーションクラス） ・イングリッシュキャンプ（アクティビティクラス）	○子ども大学（夏・冬） 小学4～6年生を対象とした総合的学習プログラムや体験講座 （夏） ・日時：令和5年8月19日（土） ・場所：旧冠岳小学校 ・参加者：17名 ・テーマ：色について （冬） ・日時：令和5年12月16日（土） ・場所：上名交流センター ・参加者：10名 ・テーマ：宇宙と国際理解	【教育総務課】 ○英検補助金 ・実績：232人 421,500円 中学生の英検実績：志願者300人うち合格者192人（合格率64.0%）	
					【学校教育課】 ○英語指導力向上セミナーの実施（総合教育センター研修主事を招聘）	【学校教育課】 ○英語教育の推進 ・ALTの増員（2名 4名） ・英検補助金事業の実施 ・英検二次試験対策の実施 ・オンライン英会話の実施（モデル校の市来中学校） ・英語指導力向上セミナーの実施（純心大学教授を招聘予定） ○英語カルタの作成準備・計画	

## 4. 総合戦略の検証 【具体的な取組内容】

【評価】欄について

A：取組を実施した（実施済、実施中）

B：取組を一部実施した（一部実施済、実施中）

C：方針・具体策を検討中

D：未着手または施策の見直しが必要

「第2期いちき串木野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（令和3年3月策定）				前年度取組実績及び当年度取組（予定）		評価	
基本目標	具体的施策	個別施策	施策内容	前年度取組実績	当年度取組（予定）		
子どもの未来を育むまち	(2) 子どものやる気と才能を引き出すまちづくり	Society5.0で活躍できる人材の育成	T. 次世代スキル育成  ・ITキャンプ ・ITコンテスト ・工学系、デジタル系産業の企業見学ツアー ・次世代セミナー	デジタルやITに関する、知識やスキルの基礎が学べる学習の機会を設け、併せて論理的思考能力や創造性も育みます。また、今、重要視されている理数系科目が実社会でどう役立っているのかを知るために企業等の見学を行い、次世代社会についてのセミナーを実施する。	【教育総務課】【学校教育課】 ○ACアダプタ充電器を全児童生徒分整備（タブレット端末の持ち帰りに対応） ○Webカメラ及び集音装置を全学校に整備（学校内外のWeb会議に対応） ○指導者用デジタル教科書導入 ○3Dプリンタ整備（串木野中学校及び市来中学校） ○教職員対象のICTスキル向上研修会：3回 ○いちき串木野市ICT教育研究会：3回（教職員自習研究会）	【教育総務課】【学校教育課】 ○ICT環境の整備 ○教職員対象のICTスキル向上研修会(3回) ○「いちき串木野市ICT教育研究会」(3回)（教職員自習研究会）	B
自慢できるまち	(1) まちの魅力を高めるシティプロモーションの展開	「食を中心とした豊かな時間や日々が過ごせるまち」の地域イメージ(ブランド)形成	U. 食のまち磨き上げ	食に係る歴史・文化・自然・産業・生活・風習といった豊かな地域資源とこれまでの取組をもとに、「食を中心とした豊かな時間や日々が過ごせるまち」というイメージを磨き上げ、食のまちいちき串木野が目指すべき方向性を示す。  ・第2期食のまちづくり基本計画策定 ・食のまちのストーリーの編集と多様な媒体でのPR	【シティセールス課】 ○「第2期食のまちづくり基本計画」の推進 ・専門コーディネーター（市村良平氏）導入 ○「食のまちPRパートナー」制度の運用 ・情報共有会：3回 ○「食のまちパートナーシップ会議」の新設 ・パートナーシップ会議：3回	【シティセールス課】 ○「第2期食のまちづくり基本計画」の推進 ・専門コーディネーター（市村良平氏） ○「食のまちPRパートナー」制度の運用 ○「食のまちパートナーシップ会議」の開催 ・パートナーシップ会議：4回 ○食のまちPRパートナー専用公式LINEの開設	A
			V. 食のまちツーリズム	「食」や「食文化」の背景にある歴史、自然、人にスポットを当てたツーリズムの推進により、本市の「食」の魅力の向上を図り、食を通じた地域活性化を図る。  ・農林水産業と連携した体験型観光の推進 ・歴史と食を堪能するツーリズムの推進	【シティセールス課】 ○冠岳観光資源活用PR事業による魅力発信 ・冠岳登山道整備 ・冠岳ロゲイニング（八十八ヶ所巡り） ・冠岳トレイルラン ・薬草プロジェクト ○くるくるMOMIJIバス運行事業（紅葉、薬膳弁当、地元産品販売等） ○NPO法人鹿児島いちき串木野観光物産センターと連携した本市体験プログラム及び体験ツアーのPR販売 ○県事業との連携（鹿児島地域振興事業スタンプラリーなど）	【シティセールス課】 ○冠岳観光資源活用PR事業による魅力発信 ・冠岳登山道整備 ・冠岳ロゲイニング（八十八ヶ所巡り） ・冠岳トレイルラン ・薬草プロジェクト ○農伯推進事業（農林漁業体験民宿の活用） ○くるくるMOMIJIバス運行事業（紅葉、薬膳弁当、地元産品販売等） ○NPO法人鹿児島いちき串木野観光物産センターと連携した本市体験プログラム及び体験ツアーのPR販売 ○県事業との連携（鹿児島地域振興事業スタンプラリーなど）	A
			W. 食のまちPRパートナー連携	本市の食に関心を持つ方を、居住地や出身地に関係なくPRパートナーとして登録し、情報提供や体験を通してファン化を進め、情報の拡散と関係人口の創出を図る。  ・食のまちPRパートナー制度の実施	【シティセールス課】 ○「第2期食のまちづくり基本計画」の推進 ・専門コーディネーター（市村良平氏）導入 ○「食のまちPRパートナー」制度の運用 ・情報共有会：3回 ○「食のまちパートナーシップ会議」の新設：3回	【シティセールス課】 ○「第2期食のまちづくり基本計画」の推進 ・専門コーディネーター（市村良平氏）活用 ○「食のまちPRパートナー」制度の運用 ○「食のまちパートナーシップ会議」の開催 ・パートナーシップ会議：4回	A

## 4. 総合戦略の検証 【具体的な取組内容】

【評価】欄について

A：取組を実施した（実施済、実施中）

B：取組を一部実施した（一部実施済、実施中）

C：方針・具体策を検討中

D：未着手または施策の見直しが必要

「第2期いちき串木野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（令和3年3月策定）				前年度取組実績及び当年度取組（予定）		評価
基本目標	具体的施策	個別施策	施策内容	前年度取組実績	当年度取組（予定）	
自慢できるまち	(1) まちの魅力を高めるシティプロモーションの展開 まちを好きになる市民を増やす取組の促進	X. わがまち自慢推進	市民がわがまちに誇りを持ち、主体的にまちづくりに関わる意思を持つ人を増やす。 ・地域を学ぶ地域教育の機会の創出 ・公式SNSによる情報発信	<b>【企画政策課】</b> ○市制施行20周年記念スタートアップ事業 市制施行20周年の節目となる令和7年度に、市民と行政が共創し、まちの魅力づくりにつながる事業を企画し、実施するための企画会議等を実施した。 (1) 若手職員の資質向上研修 ・実施回数：4回 ・受講者数：72名 (2) 市制施行20周年記念事業企画会議（R6.2-） ・実施回数：4回 ・参加者：25名（市民7名、市職員18名） ----- <b>【シティセールズ課】</b> ○食をテーマにしたPR動画制作：5本（さつま揚げ、焼酎、ふるさとの味、サワーポメロ、その他） 市公式YouTubeに投稿 ○食のまちストーリーズ（Note）による魅力発信 ○食のまちキャッチフレーズとロゴマーク作成 キャッチフレーズ：「おいしく、ひといき。」 ○「未来に乾杯！10代からの本格焼酎体験」 ・参加者：高校生15人 ・内容：各蔵見学、仕込体験、ラベルデザイン ○本市公式SNSの活用等による情報発信（公式LINE、食のまちFacebook） ○食のまちPRパートナーとの連携による本市の様々な魅力発信 ○NPO法人鹿児島いちき串木野観光物産センターと連携した観光サイトSNSによる情報発信 ○各報道機関への情報提供（取材依頼） ----- <b>【社会教育課】</b> ○子どもジャーナリスト事業 南日本新聞社の記者や地域おこし協力隊を講師に取材の心得や効果的な情報発信の方法について学習したほか、商店街の3店舗を実際に取材し、広報紙にて7回掲載した。 ・参加者：小学生5名 ・実施回数：5回	<b>【企画政策課】</b> ○市制施行20周年記念事業企画会議 ・実施回数：12回（4～9月） 参加者が5つのグループに分かれて、まちの魅力づくりをテーマに企画会議を実施。各グループから提案された事業について、10月に審査会を行い、20周年記念事業として3事業を選定。その後、令和7年度の事業化に向けて、実施に向けたプロジェクトチームを発足予定。 ----- <b>【シティセールズ課】</b> ○食をテーマにしたPR動画制作：4本（コーヒー、まぐろ、棚田守、沿岸漁業） 市公式YouTubeに投稿 ○食のまちストーリーズ（Note）による魅力発信 ○「未来に乾杯！10代からの本格焼酎体験」 ○本市公式SNSの活用等による情報発信（公式LINE、食のまちFacebook） ○食のまちPRパートナーとの連携による本市の様々な魅力発信 ○NPO法人鹿児島いちき串木野観光物産センターと連携した観光サイトSNSによる情報発信 ○各報道機関への情報提供（取材依頼） ----- <b>【社会教育課】</b> ○ふるさとゼミナル事業 地域の持つ教育力（人材、歴史、風土等）を活用し、ふるさとの魅力などを再発見する機会につなげ、郷土愛やわがまちへの誇り、また、まちづくりに関わる意欲の醸成を図り、ひいては地元雇用につなげる。 （実施内容） 対象：小中学生 事業の対象メニュー：商店街訪問、地元企業の見学、特産品の収穫体験	A

#### 4. 総合戦略の検証 【具体的な取組内容】

【評価】欄について

A：取組を実施した（実施済、実施中）

B：取組を一部実施した（一部実施済、実施中）

C：方針・具体策を検討中

D：未着手または施策の見直しが必要

「第2期いちき串木野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（令和3年3月策定）				前年度取組実績及び当年度取組（予定）		評価
基本目標	具体的施策	個別施策	施策内容	前年度取組実績	当年度取組（予定）	
自慢できるまち	(2) 多様な人材が活躍できる場の形成	外国人や関係人口との協働促進	外国人住民と地域住民が相互の文化や生活習慣等に理解を深め、ともに市民として安心して暮らせるまちを目指す。  ・多文化共生推進懇話会（仮称）の設置 ・コミュニケーション支援（日本語教室の開設等） ・外国人住民の生活支援（防災・交通安全・教育等） ・外国人住民と地域住民との交流促進 ・地域社会全体の意識啓発 ・外国人住民の自立と社会参画を促進	【企画政策課】 ○外国人留学生支援事業 将来本市に就職する事を条件に市内企業から奨学金を受け取る外国人留学生に対し、市内企業とともに学費等を支援する。 ・支援内容：日本語学校等の外国人留学生が市内企業から受けている奨学金の9/10を補助する。 ・実績：7名（2社） ○日本語サポーター養成講座：5回、延べ68人 ○日本語・日本理解講座：5回、延べ79人 ○留学生による外国語等教室：2回、延べ15人 ○日本文化理解講座：1回、12人 ○留学生と地域住民のまちづくりWS：1回、10人 ○国際理解講座：1回、12人 ○やさしい日本語研修会：1回、15人 ○多文化共生推進懇話会の実施	【企画政策課】 ○外国人留学生支援事業 ○日本語教室：10回 （内容） ・日本語サポーター養成講座：5回 ・日本語・日本理解講座：5回 ○留学生による外国語等教室：2回 ○日本文化理解講座：1回 ○留学生と地域住民のまちづくりWS：1回 ○国際理解講座：1回 ○やさしい日本語研修会：1回 ○多文化共生推進懇話会の実施	A
				【水産商工課】 ○高校生等を対象とした企業説明会の開催 日時：令和6年2月6日（火） 14：00～16：00 参加者：串木野高校1.2年生52名 市来農芸高校1.2年生86名 神村学園専修学校日本語学科2名 ○企業見学バスツアー 日時：令和6年3月26日（火） 9：00～16：30 参加者：35歳以下の求職者7名 （うち外国人2名参加）	【水産商工課】 ○企業説明会等の実施 （神村学園専修学校日本語学科とも連携）	
		Z. 関係人口創出・拡大	地域と関係人口など外部人材との協働により、持続可能な地域づくりを目指す。  ・冠嶽芸術文化村構想推進事業 ・食のまちPRパートナー連携事業	【企画政策課】 ○ツーリズム事業 1事業（くるくるキッズデイ） ○冠岳小学校の利活用事業 1事業（えんたく事務所運営） 冠岳芸術文化村構想推進事業終了後の自走型事業として実施	【企画政策課】 ○ツーリズム事業 1事業（くるくるキッズデイ） ○冠岳小学校の利活用事業 1事業（えんたく事務所運営）	B



## 5. 地方創生推進交付金の検証

1【事業効果】欄について

A：地方創生に非常に効果的であった（目標達成）

B：地方創生に相当程度効果があった（概ね目標達成）

C：地方創生に効果があった（目標未達成）

D：地方創生に効果がなかった（実績が事業開始前より悪化）

2【外部評価】欄について

A：本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効であった B：本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効でなかった

事業区分	事業名	事業費 (交付金額)	概要	重要業績評価指標（KPI）		実績値	令和5年度取組内容と成果・施策の状況	事業効果 1	外部評価 2
				指標	目標年月				
地方創生 推進交付金	DX拠点を核とした 地方創生事業	13,230,000円 (6,615,000円)	本市の需要とマッチするIT関連企業を誘致し、誘致した企業と地元既存事業所をタイアップすることで、誘致企業の定着及び地元既存事業所のデジタル化を促す。また広くデジタル活用に対する理解促進の波及効果を生むことを目指す。	IT相談による 地元既存事業所 の問題解決件数 (6件) IT企業誘致に 関する移住者数 (5人) 誘致したIT関連 企業への地元 雇用数 (10人) 市内への誘致 IT関連企業数 (7社)	R7.3	R4年度 0件 0人 0人 0社  累計 0件 0人 0人 0社	令和4年度は、IT関連企業誘致事業等を通じ、IT企業33社との面談を行うなどの取り組みを行った。また、商工会議所の情報政策特別委員会等と連携し、情報の共有を図った。 設定したKPI に関しては、IT相談があり継続的に打合せていたものの、最終的にはコスト面での折り合いがつかず解決には至らなかった。KPI 、、 に関しては、立地予定企業の都合により本市への立地を辞退する申し入れがあった。 令和5年度では、地元既存事業所の抱く課題を具体的に調査し、その解決方法としてITを活用する手段を提案することを目的にコミュニティマネージャーを配置し、その課題の解決及び課題に紐づくIT関連企業の誘致を図りKPI達成のための取り組みを加速させる。	C	